

製品名: Rad9 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM00971

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IP
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 43 kDa; Observed MW: 55 kDa

抗原情報

遺伝子名	RAD9A
別名	RAD9; hRAD9
遺伝子 ID	5883
SwissProt ID	Q99638
免疫原	-

背景

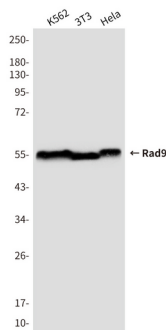
この遺伝子産物は、細胞周期停止と DNA 損傷修復に必要な細胞周期チェックポイントタンパク質である *Schizosaccharomyces pombe rad9* と非常に類似しています。このタンパク質は 3'-5'エキソヌクレアーゼ活性を有しており、DNA 損傷の感知と修復に寄与

している可能性があります。RAD1 および HUS1 とチェックポイントタンパク質複合体を形成します。この複合体はチェックポイントタンパク質 RAD17 によって DNA 損傷部位にリクルートされ、チェックポイントシグナル伝達カスケードの誘導に重要な役割を担っていると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっています。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



RAD9A 抗体を使用した K562、3T3、および HeLa 溶解物中の RAD9A のウェスタンブロット分析。